

於ける大改、討戸の向題も之に交渉し、我々の大衆党に對しては下流を具体化し、其の非階級性も徹底的に批判し、といふ事也

△兵 西村(大改)

日 一切の無産階級は労働階級の政治的解放の爲めに統成されるものと断じてインテリ、議院政黨の龍王断に要するべきことなり

△其他(京都、大改)ニ、三名の賛成意見あり

何れも各田の討論会選挙に當り全国労働大衆党本部及び全国労働組合同盟の擁護を乞ふに當り、全国労働本位に偏し、或は

インテリ出身の跋扈せしめ(神戸に於ける河上又たらを中心として南西労働党) 全国労働組合を無視するの態度に對しては、我々は此の際、全国労働大衆党を脱身し、此れを最も階級的な政黨と樹立するべきであるといふ等の意見を述べらる。

△政治部長 高山文彦 意見

日 従来我々は大衆党を階級的に擁護し、其の活動より防衛し、之を最進に於ける労働党に全クインテリに對しては、既に無産階級としての価値を失つてゐる事がある。

本部の選中が労働党に好意を拂つてゐる事は、今度の選挙の結果、大改討戸